

平成 27 年度
沖縄県 MICE 開催実態調査事業
報告書

平成 28 年 3 月

沖縄県

目次

はじめに	1
1. 開催実績調査	2
1.1. 調査の目的	2
1.2. 調査手法	2
1.3. 調査結果	4
1.3.1. 調査結果概要	4
1.3.2. 調査結果詳細	6
2. 経済効果調査	23
2.1. 調査の目的	23
2.2. 調査手法	23
2.2.1. 経済効果（消費額）の推計方法	23
2.2.2. 消費原単位の設定	24
2.2.3. 国内学会参加者向けの対面式アンケート	31
2.3. 調査結果	32
2.3.1. 経済効果推計結果	32
2.3.2. まとめ	40
3. 参考資料	41
3.1. 開催実態調査 調査票	41
3.2. ガイドライン	42
3.3. 国内学会参加者向けアンケート調査票	43

はじめに

沖縄県は2000年九州・沖縄サミットをきっかけとして全国に先駆けてMICE誘致に取り組んでおり、国内におけるMICE開催としては一定の知名度を有しているが、施設容量、県内ホテルの客室数の限界等により機会損失が発生している。

他方、那覇空港を結ぶ国際線の伸びは著しく、平成28年3月現在、国内23路線、海外11路線を結ぶ我が国国有数の国際空港へと成長しており、アクセスの利便性が格段に向上してきた。

沖縄県は、これまでのレジャー中心の観光だけではなく、MICE振興を通して「ビジネスリゾート」としての新機軸を確立するという新たな政策を打ち出し、沖縄本島東海岸の「中城湾港マリンタウン地区」への大型MICE施設の整備と、ホテル及び商業施設の誘致に着手した。この施設を十分に稼働させ、既存施設も活かしながらMICE振興を図っていくためにはこれまでとは異なるMICE誘致活動を展開していく必要がある。また、誘致活動のみならず、MICEビジネスの担い手となるMICE関連事業者の育成など受入体制の整備に向けた取組みも早急に進めていく必要がある。

沖縄県は、このような政策課題と具体的な取り組みの方向性を整理するため平成28年度に「沖縄MICE振興ビジョン」を策定することとしている。本調査は、その予備調査の位置付けであり、現時点でのMICE開催実績及び経済効果調査（市場規模の推計）を行ったものである。

1. 開催実績調査

1.1. 調査の目的

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローでは県内行政機関、MICE 施設、宿泊施設、観光代理店等を対象とした「MICE 開催実績及び開催予定統計調査」を毎年実施しており、開催実績（名称、主催者、期間、参加者数（県内・県外・海外））に関する情報が、県内の多くの団体や施設（平成 25 年：188 の団体及び施設）から集められている。

本調査ではこの統計調査のアップデートとして、平成 26 年、平成 27 年を対象とした開催実績調査を行った。この際、過去調査からの連続性を担保するために、調査事項については過去調査の内容をほぼ踏襲したものの、より精緻な実態把握を目的に調査対象の一部拡充を行った。

1.2. 調査手法

調査は郵送式アンケートにより実施した。調査対象は以下の通りである。

- ・ 平成 23 年、25 年の M I C E 開催実績統計調査で対象とした施設。
- ・ 平成 23 年、25 年調査で対象となっていなかった MICE 施設や宿泊施設（収容人数 150 名以上）。

なお、データ集計に際しては、アンケート結果をそのまま集計するのではなく、以下の内容について精査した上で集計を行った。

- ・ 各事業所から回答があった開催実績の中で、催事名及び開催期間が重複した場合、同一催事とみなし統合。
- ・ 「沖縄県 MICE 開催実態調査ガイドライン」（県外・海外から 10 名以上の参加者があること）に該当する実績を集計（ガイドラインで MICE とみなされない催事を除外）。

前述のように、過去に実施された調査対象より本年度は大幅に対象件数を増やしたため、回答率は58%と過去5年の実績より下回ったが、最終的に平成26年1,023件、平成27年1,166件の開催実績情報を得た。

過去5年の調査対象件数と回答率

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
調査対象件数	176	208	188	350	350
回答件数	133	137	139	202	202
回答率	76%	66%	73%	58%	58%

平成26・27年調査対象区分と回答内容

団体・施設・機関	送付件数	回答（MICE受入の確認）				未回答	回答率
		受入有	受入無	不明	合計		
会議施設	64	19	19	7	45	19	70%
ホテル	151	36	57	19	112	39	74%
旅行社	13	7	1	0	8	5	62%
ユニークベニュー	15	2	3	2	7	8	47%
官公庁	45	4	8	0	12	33	27%
視察・見学	30	1	8	0	9	21	30%
体験プログラム	31	2	6	0	8	23	26%
ゴルフ場	1		1		1	0	100%
合計	350	71	103	28	202	148	58%

1.3. 調査結果

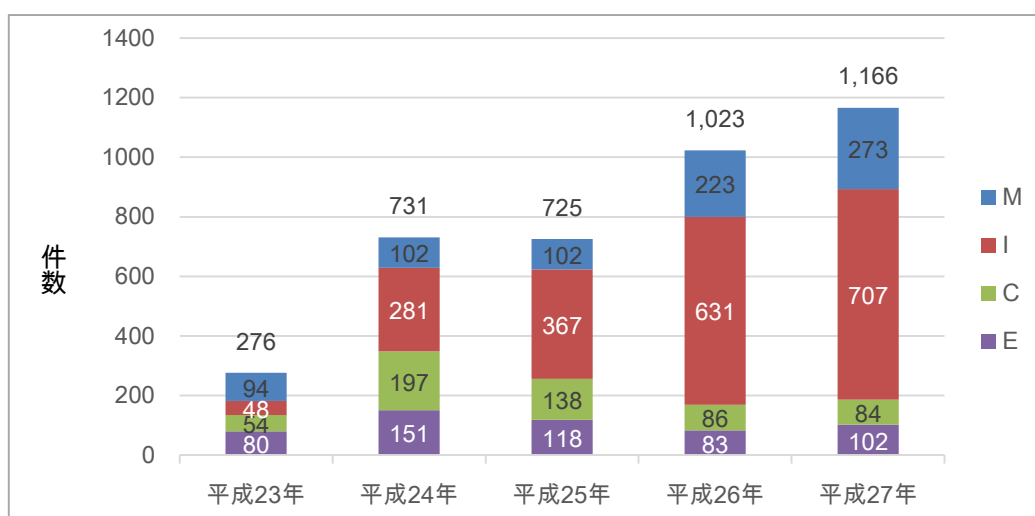
1.3.1. 調査結果概要

- 沖縄県における MICE 開催件数は平成 26 年が 1,023 件、平成 27 年が 1,166 件であり、過去調査（平成 23 年：276 件、24 年：731 件、25 年：725 件）に比べて大きく増加した。

（ただし、1.2.調査手法に記述した通り、今回調査は調査対象件数を増やしており、それも増加の原因として考えられる）

- 平成 26 年、27 年について M・I・C・E の催事別の開催件数の内訳をみると、下記のように M（Meeting）と I（Incentive）の件数の割合が高く、中でも I は全体件数の 6 割程度を占めている。また、I は平成 26 年から 27 年にかけて大きく増加している。（なお、平成 24 年調査は M と C（Conference）の区分が今回調査とは異なるため C の件数が多くなっている点に留意が必要。）

MICE 開催件数の推移



- 平成 26 年、27 年について M・I・C・E の催事別の開催件数の内訳をみると、下記のように M と I の件数の割合が高く、中でも I は全体件数の 6 割程度を占めている。

- 開催規模の特徴としては、催事種別で見ると、Meeting、Incentive は 99 名以下の小型の催事が多く、Convention は 100～999 名の中規模クラスの催事が多い。Exhibition・Event は 1,000 名以上の大型催事が多く、1,000 名以上の全催事の約 7 割は Exhibition・Event となっている。

図表 参加者 1,000 名以上開催件数（平成 26・27 年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
M	13	21%	15	22%
I	2	3%	3	4%
C	7	11%	6	9%
E	40	65%	45	65%
合計	62		69	

- 県外、海外から多数の参加者を集客（県外、海外で合計 300 名以上）している催事（平成 26 年で 80 件、27 年で 86 件）としては、Exhibition・Event が全体の 4 割程度を占めており、残り M・I・C がそれぞれ 2 割程度である。

図表 海外+県外参加者 300 人以上開催件数（平成 26・27 年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
M	13	16%	19	22%
I	15	19%	16	19%
C	23	29%	16	19%
E	29	36%	35	41%
合計	80		86	

- 月別の参加人数および参加者数は、7～9 月の一般観光の繁忙期に少なく、10 月～12 月、1～3 月に多くなっている。Convention は全国的に 10 月、11 月に需要が集中する傾向にあるほか、沖縄県の一般観光の繁忙期である夏季以外の時期は相対的に旅行費用を抑えることができ、結果的に需要が集中する傾向にあると思われる。

1.3.2. 調査結果詳細

平成23年～25年に比べて、平成26年、27年は開催件数が大きく伸びている。前述したとおり、開催実績アンケートの調査対象を拡充し、より開催実績を幅広く把握できたことが影響していると考えられる。

また、平成26年から27年にかけては Meeting や Incentive の件数が大きく増加している。平成26年、27年は今回の調査でまとめて把握しており、調査対象も同一であることから、景気の回復等をうけて、実際に開催件数が増加しているものと思われる。

なお、Convention については平成24年、25年に比べて、平成26年、27年の値が少なくなっているが、これは、平成24年、25年の調査においては、ワークショップのような小規模な会議をコンベンションと区分してきたが、本調査においては Meeting と判断しているためと考えられる。また、平成24年、25年は、沖縄のみならず、業界全体としても実際に学会の開催が多かったとも言われており（東日本大震災の影響により延期となった学会が開催された等）、その点も影響していると考えられる。

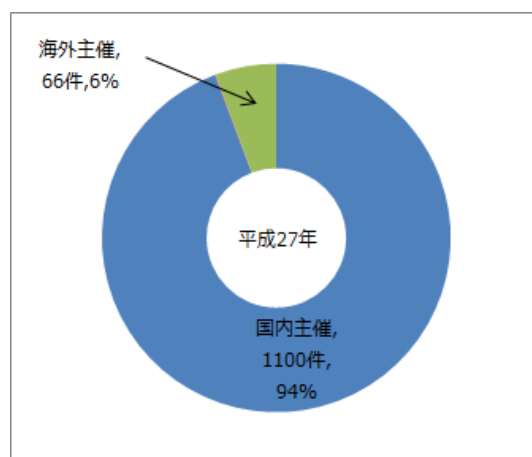
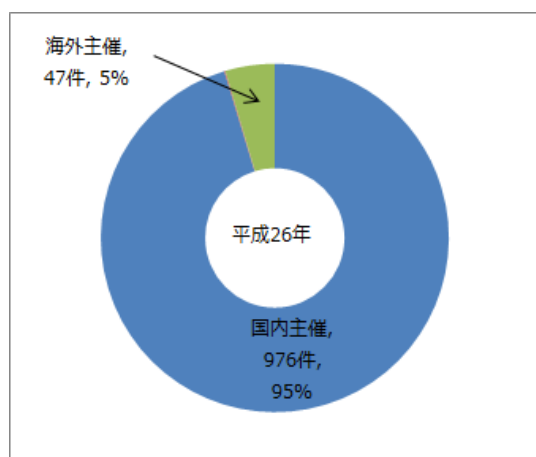
図表 開催実績年度別件数（平成23年～27年）

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	件数	件数	件数	件数	件数
Meeting	94 (34%)	102 (14%)	102 (14%)	223 (22%)	273 (23%)
Incentive	48 (17%)	281 (38%)	367 (51%)	631 (62%)	707 (61%)
Convention	54 (20%)	197 (27%)	138 (19%)	86 (8%)	84 (7%)
Exhibition, Event	80 (29%)	151 (21%)	118 (16%)	83 (8%)	102 (9%)
合計	276	731	725	1,023	1,166

※（ ）内は各年の総件数に対するMICEタイプ別の比率

図表 国内主催・海外主催の開催実績年度別件数（平成26・27年）

区分	平成26年				平成27年			
	国内主催		海外主催		国内主催		海外主催	
Meeting	213	22%	10	21%	261	24%	12	18%
Incentive	596	61%	35	74%	655	60%	52	79%
Convention	86	9%	0	0%	83	8%	1	2%
Exhibition Event	81	8%	2	4%	101	9%	1	2%
小計	976	100%	47	100%	1100	100%	66	100%
合計	1,023				1,166			

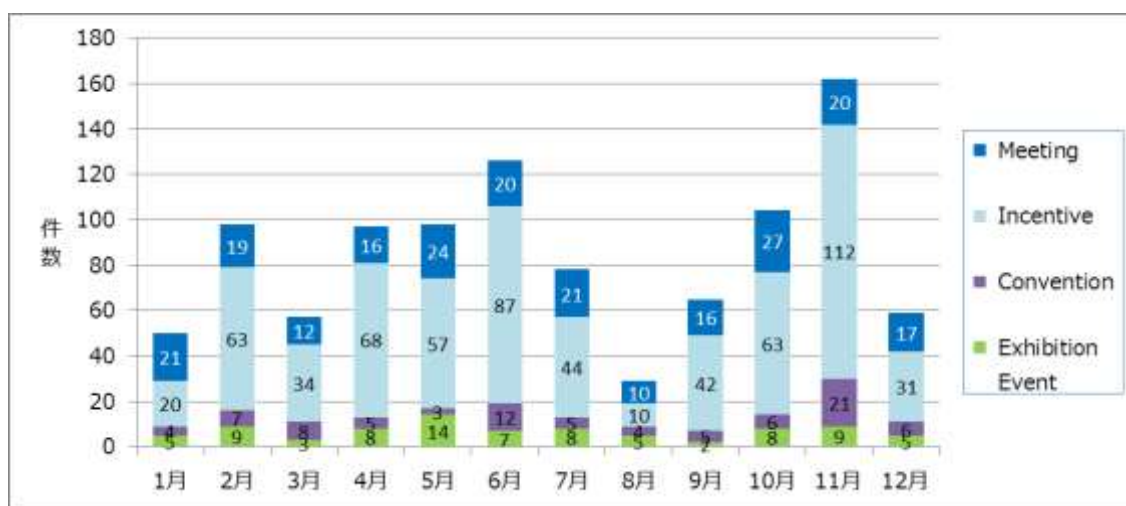


月別の開催件数を見てみると、平成26年、27年ともに6月、10月、11月の開催件数が多く、特に Incentive の開催件数が多い。沖縄観光の閑散期にあたり、一般観光の需要が相対的に低い時期であることから、航空券や客室が確保しやすい、旅行費用が抑えられる等のメリットがあるためと考えられる。

図表 月別開催件数（平成26・27年）

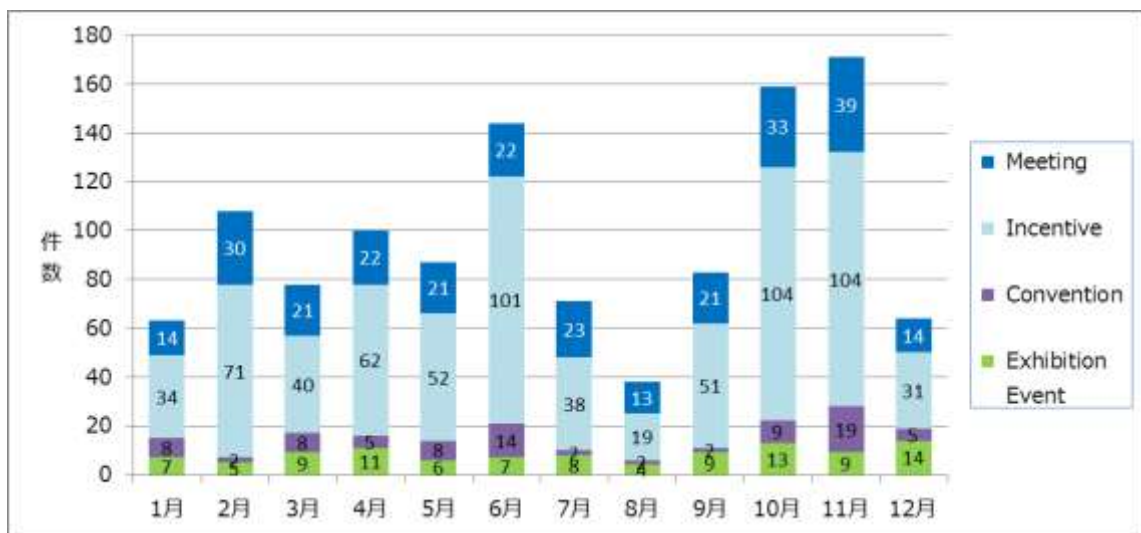
平成26年

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Meeting	件数	223	21	19	12	16	24	20	21	10	16	27	20	17
	(%)	22%	9%	9%	5%	7%	11%	9%	9%	4%	7%	12%	9%	8%
Incentive	件数	631	20	63	34	68	57	87	44	10	42	63	112	31
	(%)	62%	3%	10%	5%	11%	9%	14%	7%	2%	7%	10%	18%	5%
Convention	件数	86	4	7	8	5	3	12	5	4	5	6	21	6
	(%)	8%	5%	8%	9%	6%	3%	14%	6%	5%	6%	7%	24%	7%
Exhibition Event	件数	83	5	9	3	8	14	7	8	5	2	8	9	5
	(%)	8%	6%	11%	4%	10%	17%	8%	10%	6%	2%	10%	11%	6%
合計	件数	1,023	50	98	57	97	98	126	78	29	65	104	162	59
	(%)	100%	5%	10%	6%	9%	10%	12%	8%	3%	6%	10%	16%	6%



平成 27 年

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Meeting	件数	273	14	30	21	22	21	22	23	13	21	33	39	14
	(%)	23%	5%	11%	8%	8%	8%	8%	8%	5%	8%	12%	14%	5%
Incentive	件数	707	34	71	40	62	52	101	38	19	51	104	104	31
	(%)	61%	5%	10%	6%	9%	7%	14%	5%	3%	7%	15%	15%	4%
Convention	件数	84	8	2	8	5	8	14	2	2	2	9	19	5
	(%)	7%	10%	2%	10%	6%	10%	17%	2%	2%	2%	11%	23%	6%
Exhibition Event	件数	102	7	5	9	11	6	7	8	4	9	13	9	14
	(%)	9%	7%	5%	9%	11%	6%	7%	8%	4%	9%	13%	9%	14%
合計	件数	1,166	63	108	78	100	87	144	71	38	83	159	171	64
	(%)	100%	5%	9%	7%	9%	7%	12%	6%	3%	7%	14%	15%	5%



規模別の開催件数を見て見ると、10～49名の小型の催事が全体件数の約6割を占めており、1,000名を越えるような大型の催事は平成26年、27年ともに1割未満（6%）であった。

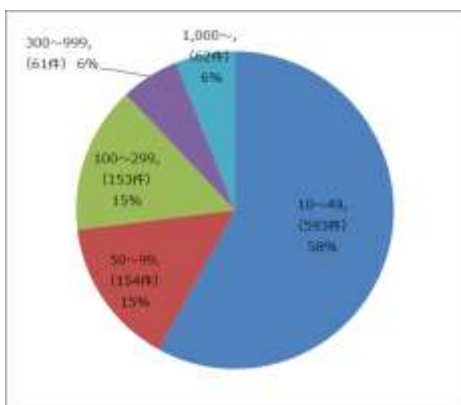
催事種別でみると、Meeting、Incentiveは99名以下の小型の催事が多く、Conventionは100～999名の中規模クラスの催事が多い。

Exhibition・Eventは1,000名以上の大型催事が多く、1,000名以上の催事の約7割はExhibition・Eventとなっている。

図表 参加人数別開催件数（平成26・27年）

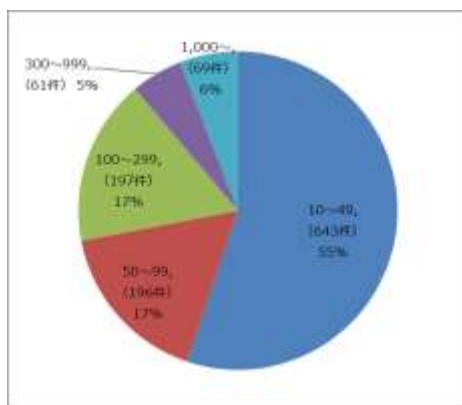
平成26年

参加人数（人）	区分	件数	割合
10～49	M	121	20%
	I	458	77%
	C	8	1%
	E	6	1%
	合計	593	58%
50～99	M	41	27%
	I	90	58%
	C	14	9%
	E	9	6%
	合計	154	15%
100～299	M	38	25%
	I	67	44%
	C	35	23%
	E	13	8%
	合計	153	15%
300～999	M	10	16%
	I	14	23%
	C	22	36%
	E	15	25%
	合計	61	6%
1,000～	M	13	21%
	I	2	3%
	C	7	11%
	E	40	65%
	合計	62	6%
合計		1,023	



平成27年

参加人数（人）	区分	件数	割合
10～49	M	124	19%
	I	494	77%
	C	15	2%
	E	10	2%
	合計	643	55%
50～99	M	58	30%
	I	112	57%
	C	16	8%
	E	10	5%
	合計	196	17%
100～299	M	62	31%
	I	85	43%
	C	33	17%
	E	17	9%
	合計	197	17%
300～999	M	14	23%
	I	13	21%
	C	14	23%
	E	20	33%
	合計	61	5%
1,000～	M	15	22%
	I	3	4%
	C	6	9%
	E	45	65%
	合計	69	6%
合計		1,166	



図表 参加者 1,000 名以上開催件数（平成 26・27 年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
Meeting	13	21%	15	22%
Incentive	2	3%	3	4%
Convention	7	11%	6	9%
Exhibition Event	40	65%	45	65%
合計	62		69	

平成 26 年



平成 27 年

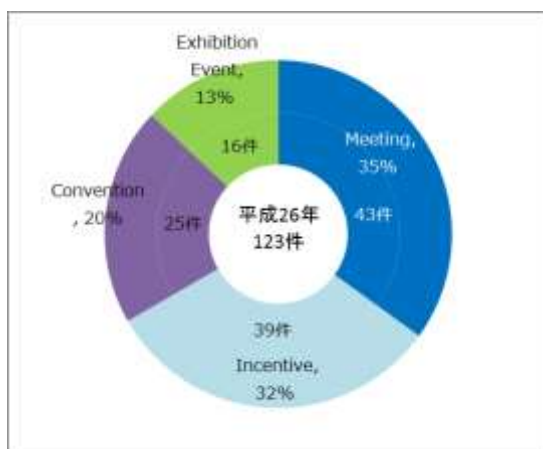


海外参加者 10 名以上の催事をみると、Meeting や Incentive の開催割合が高い。これらは海外企業や、日本企業の海外支店が Meeting や Incentive を開催しているケースが多い。（開催実績の個別データ（非公表）より）

図表 海外参加者 10 名以上開催件数（平成 26・27 年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
Meeting	43	35%	42	31%
Incentive	39	32%	57	42%
Convention	25	20%	23	17%
Exhibition Event	16	13%	13	10%
合計	123		135	

平成 26 年



平成 27 年

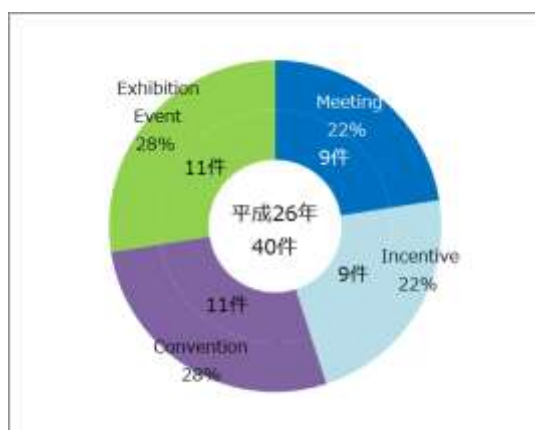


海外参加者が 50 名以上の催事については、平成 26 年は M・I・C・E それぞれが 10 件程度ずつ、平成 27 年は Convention が少なく、Incentive が多いという結果であった。

図表 海外参加者 50 名以上開催件数（平成 26・27 年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
Meeting	9	22%	14	26%
Incentive	9	22%	22	41%
Convention	11	28%	6	11%
Exhibition Event	11	28%	12	22%
合計	40		54	

平成 26 年



平成 27 年

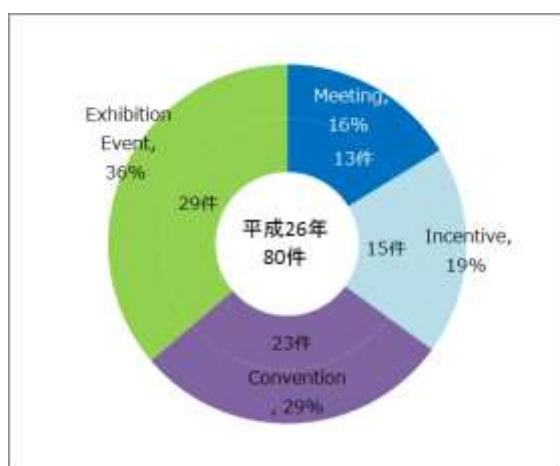


県外、海外より 300 名以上の参加者のある催事をみると、Exhibition・Event が多く、特にコンサート開催に伴い、多数の県外参加者を集客しているものが多い。Meeting や Incentive では日本企業による中規模程度の開催が多く、県外客の集客に繋がっている。

図表 海外+県外参加者 300人以上開催件数（平成 26・27 年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
Meeting	13	16%	19	22%
Incentive	15	19%	16	19%
Convention	23	29%	16	19%
Exhibition Event	29	36%	35	41%
合計	80		86	

平成 26 年



平成 27 年

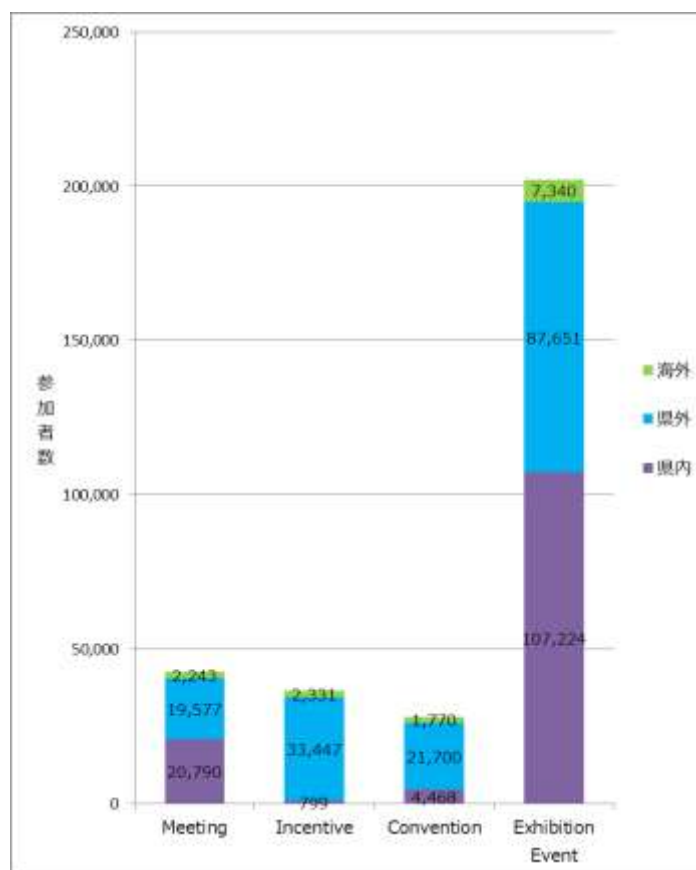


参加者の地域分布をみると、県内からの参加者の割合が多く、特に参加者数の多い Exhibition・Event については半分以上が県内参加者となっている、全体に占める県内参加者の比率も高い。一方、Incentive、Convention については、県外比率が高く、参加者のほとんどが県外参加者となっている。

図表 参加地域別参加者数（平成 26・27 年）

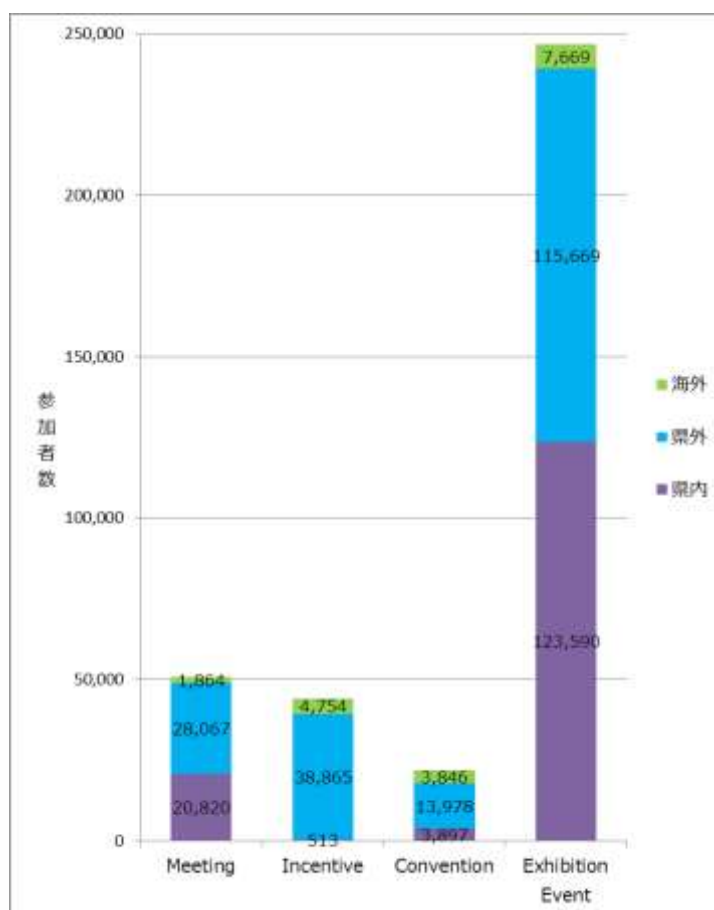
平成 26 年

		合計	県内	県外	海外
Meeting	人数	42,610	20,790	19,577	2,243
	(%)	14%	49%	46%	5%
Incentive	人数	36,577	799	33,447	2,331
	(%)	12%	2%	91%	6%
Convention	人数	27,938	4,468	21,700	1,770
	(%)	9%	16%	78%	6%
Exhibition Event	人数	202,215	107,224	87,651	7,340
	(%)	65%	53%	43%	4%
合計	人数	309,340	133,281	162,375	13,684
	(%)	100%	43%	52%	4%



平成 27 年

		合計	県内	県外	海外
Meeting	人数	50,751	20,820	28,067	1,864
	(%)	14%	41%	55%	4%
Incentive	人数	44,132	513	38,865	4,754
	(%)	12%	1%	88%	11%
Convention	人数	21,721	3,897	13,978	3,846
	(%)	6%	18%	64%	18%
Exhibition Event	人数	246,928	123,590	115,669	7,669
	(%)	68%	50%	47%	3%
合計	人数	363,532	148,820	196,579	18,133
	(%)	100%	41%	54%	5%

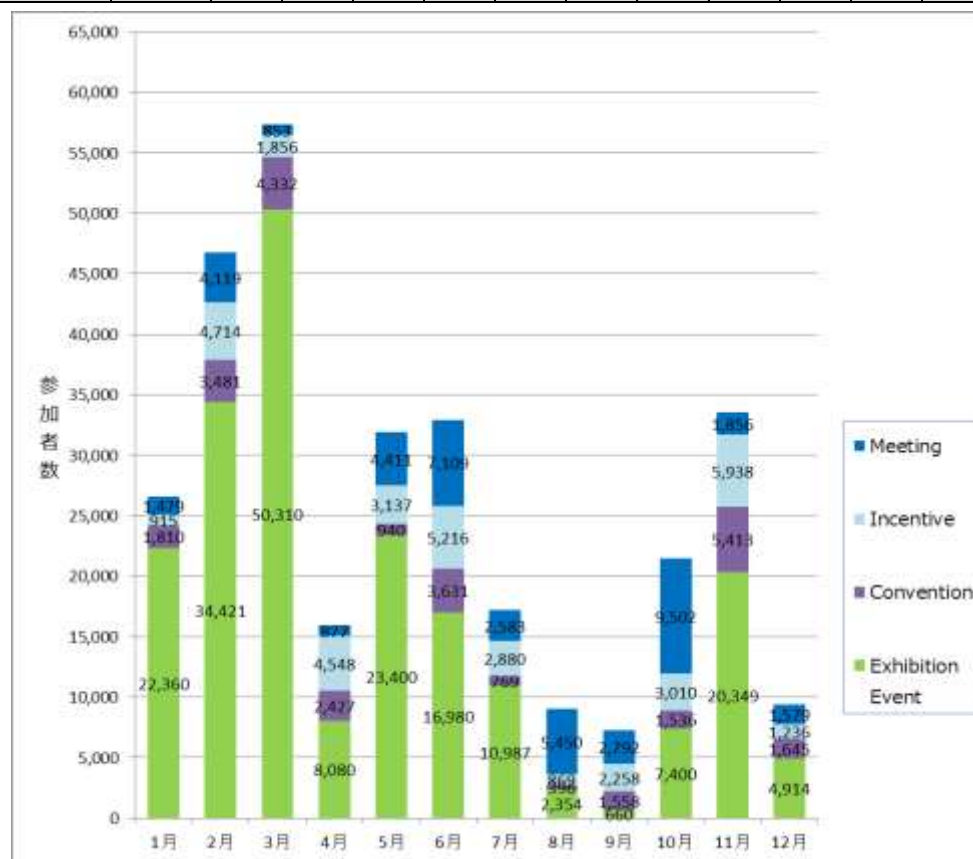


月別の参加人数では、1月～3月にピークが生じ、7～9月の一般観光繁忙期が少なく、10月、11月に再びピークを迎える傾向にある。(ただし、一部、県内客の参加割合の高いEvent(一般消費者向けイベントなど)が含まれているため、突発的に参加人数が高い月がある点に注意が必要)

図表 開催実績年月別参加者数(平成26・27年)※

平成26年

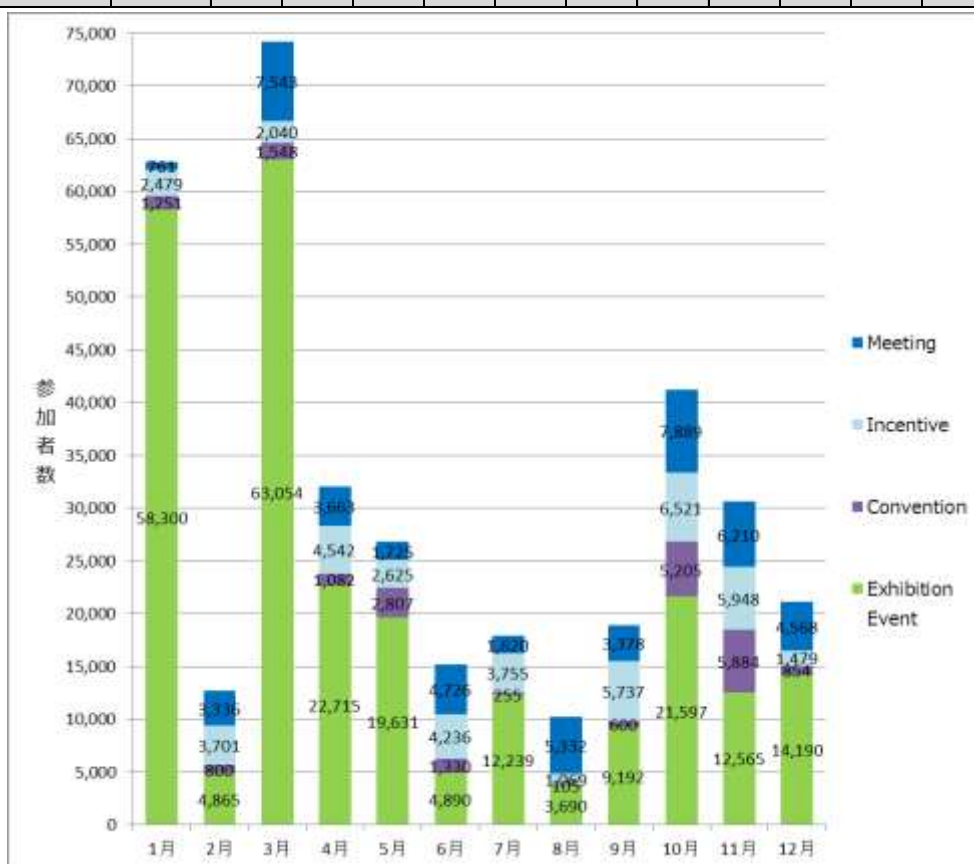
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Meeting	人数	42,610	1,479	4,119	853	877	4,411	7,109	2,583	5,450	2,792	9,502	1,856	1,579
	(%)	14%	3%	10%	2%	2%	10%	17%	6%	13%	7%	22%	4%	4%
Incentive	人数	36,577	915	4,714	1,856	4,548	3,137	5,216	2,880	869	2,258	3,010	5,938	1,236
	(%)	12%	3%	13%	5%	12%	9%	14%	8%	2%	6%	8%	16%	3%
Convention	人数	27,938	1,810	3,481	4,332	2,427	940	3,631	769	396	1,558	1,536	5,413	1,645
	(%)	9%	6%	12%	16%	9%	3%	13%	3%	1%	6%	5%	19%	6%
Exhibition Event	人数	202,215	22,360	34,421	50,310	8,080	23,400	16,980	10,987	2,354	660	7,400	20,349	4,914
	(%)	65%	11%	17%	25%	4%	12%	8%	5%	1%	0%	4%	10%	2%
合計	人数	309,340	26,564	46,735	57,351	15,932	31,888	32,936	17,219	9,069	7,268	21,448	33,556	9,374
	(%)	100%	9%	15%	19%	5%	10%	11%	6%	3%	2%	7%	11%	3%



※沖縄国際映画祭の県外、海外参加者は含めているが、県内参加者は参加者数が極端に多く、かつ年毎の変動が大きく、他の参加者数の増減が不明確になるため含めていない。また、1月は約8千人規模の県民向けイベントや約1万2千人規模のコンサート、2月は約1万3千人規模の自動車展示会、3月は沖縄国際映画祭(県外、海外合わせて約5万人)が開催されていることから参加者数が多い。

平成 27 年

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Meeting	人数	50,751	761	3,336	7,543	3,663	1,725	4,726	1,620	5,332	3,378	7,889	6,210	4,568
	(%)	14%	1%	7%	15%	7%	3%	9%	3%	11%	7%	16%	12%	9%
Incentive	人数	44,132	2,479	3,701	2,040	4,542	2,625	4,236	3,755	1,069	5,737	6,521	5,948	1,479
	(%)	12%	6%	8%	5%	10%	6%	10%	9%	2%	13%	15%	13%	3%
Convention	人数	21,721	1,251	800	1,548	1,082	2,807	1,330	255	105	600	5,205	5,884	854
	(%)	6%	6%	4%	7%	5%	13%	6%	1%	0%	3%	24%	27%	4%
Exhibition Event	人数	246,928	58,300	4,865	63,054	22,715	19,631	4,890	12,239	3,690	9,192	21,597	12,565	14,190
	(%)	68%	24%	2%	26%	9%	8%	2%	5%	1%	4%	9%	5%	6%
合計	人数	363,532	62,791	12,702	74,185	32,002	26,788	15,182	17,869	10,196	18,907	41,212	30,607	21,091
	(%)	100%	17%	3%	20%	9%	7%	4%	5%	3%	5%	11%	8%	6%



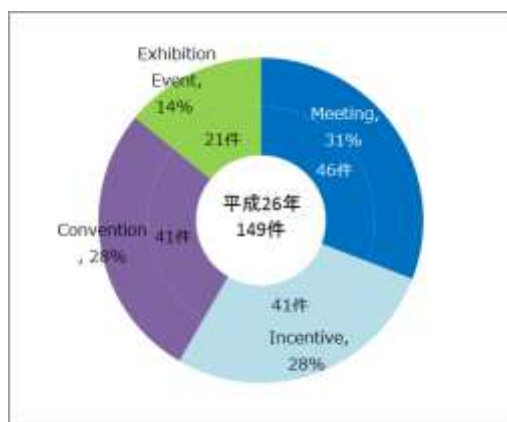
※1月は約4万人規模の県民向けイベント3月は沖縄国際映画祭（県外、海外合わせて約6万人）が開催されていることから参加者数が多い。

開催期間が3日以上にわたる催事は平成26年が約150件、平成27年が約200件であった。平成26年から平成27年にかけて特に Incentive の件数が増加しているが、国内大手旅行会社にヒアリングしたところ景気回復により、より開催期間の長い案件が増加傾向にあるとのことであった。

開催3日以上開催件数（平成26・27年）

区分	平成26年		平成27年	
	件数	割合	件数	割合
Meeting	46	31%	58	29%
Incentive	41	28%	101	50%
Convention	41	28%	23	11%
Exhibition Event	21	14%	19	9%
合計	149		201	

平成26年



平成27年



海外3カ国以上から参加者のある催事は平成26年が46件、27年が45件であった。学術目的やそれに類するMeeting、あるいはConventionがそれらのうちの多くを占めている。

図表 参加国別開催件数（平成26・27年）

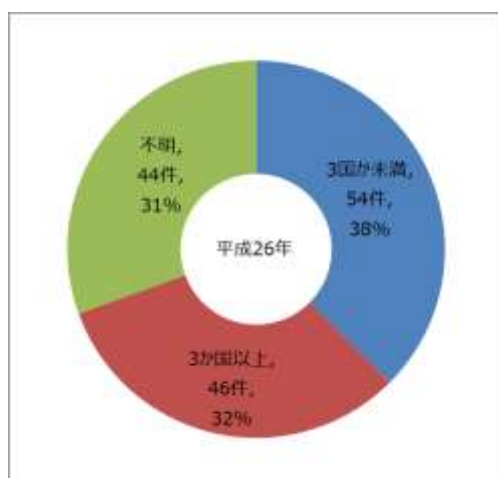
平成26年

参加国数	区分	件数	割合
3カ国未満	Meeting	15	28%
	Incentive	28	52%
	Convention	5	9%
	Exhibition Event	6	11%
	合計	54	38%
3カ国以上	Meeting	22	48%
	Incentive	2	4%
	Convention	19	41%
	Exhibition Event	3	7%
	合計	46	32%
不明	Meeting	15	34%
	Incentive	10	23%
	Convention	10	23%
	Exhibition Event	9	20%
	合計	44	31%
合計		144	

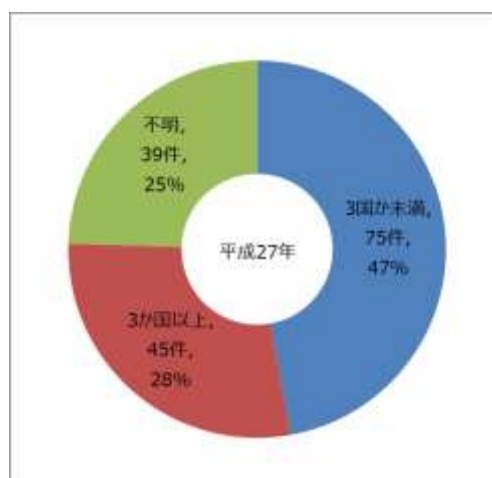
平成27年

参加国数	区分	件数	割合
3カ国未満	Meeting	20	27%
	Incentive	42	56%
	Convention	7	9%
	Exhibition Event	6	8%
	合計	75	47%
3カ国以上	Meeting	28	62%
	Incentive	4	9%
	Convention	11	24%
	Exhibition Event	2	4%
	合計	45	28%
不明	Meeting	11	28%
	Incentive	12	31%
	Convention	10	26%
	Exhibition Event	6	14%
	合計	39	25%
合計		159	

平成26年



平成27年



市町村別の開催実績をみると、平成26・27年とも名護市が最も多く、次いで那覇市、恩納村となっている。

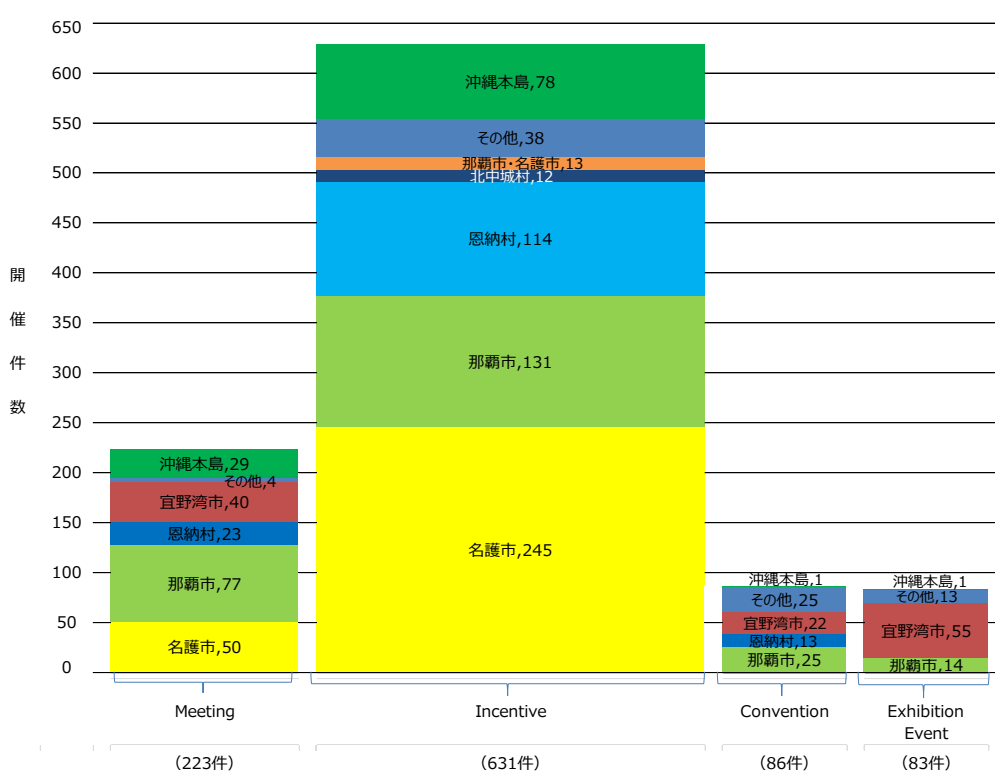
なお、複数の開催地で開催された催事については開催市町村を併記し、県内各所を周遊するなど、開催地が特定できない場合は「沖縄本島」としている。

図表 地域別の開催実績件数（平成26・27年）

平成26年

市町村	開催件数	M	I	C	E
名護市	305	50	245	9	1
那覇市	247	77	131	25	14
恩納村	151	23	114	13	1
宜野湾市	126	40	9	22	55
石垣市	16	2	9	4	1
北中城村	13	1	12	0	0
那覇市・名護市	13	0	13	0	0
宮古島市・石垣市	8	0	8	0	0
浦添市	5	0	0	1	4
宮古島市	5	0	2	0	3
西原町	5	0	0	5	0
北谷町	4	0	0	3	1
南城市	3	0	2	0	1
読谷村	3	0	3	0	0
糸満市	2	0	0	1	1
南風原町	2	1	0	1	0
本部町	1	0	1	0	0
八重瀬町	0	0	0	0	0
那覇市・金武町	1	0	1	0	0
沖縄本島・宮古・石垣	1	0	1	0	0
那覇市・石垣市	1	0	1	0	0
宜野湾市・名護市	1	0	1	0	0
嘉手納町	1	0	0	1	0
沖縄本島	109	29	78	1	1
合計	1,023	223	631	86	83

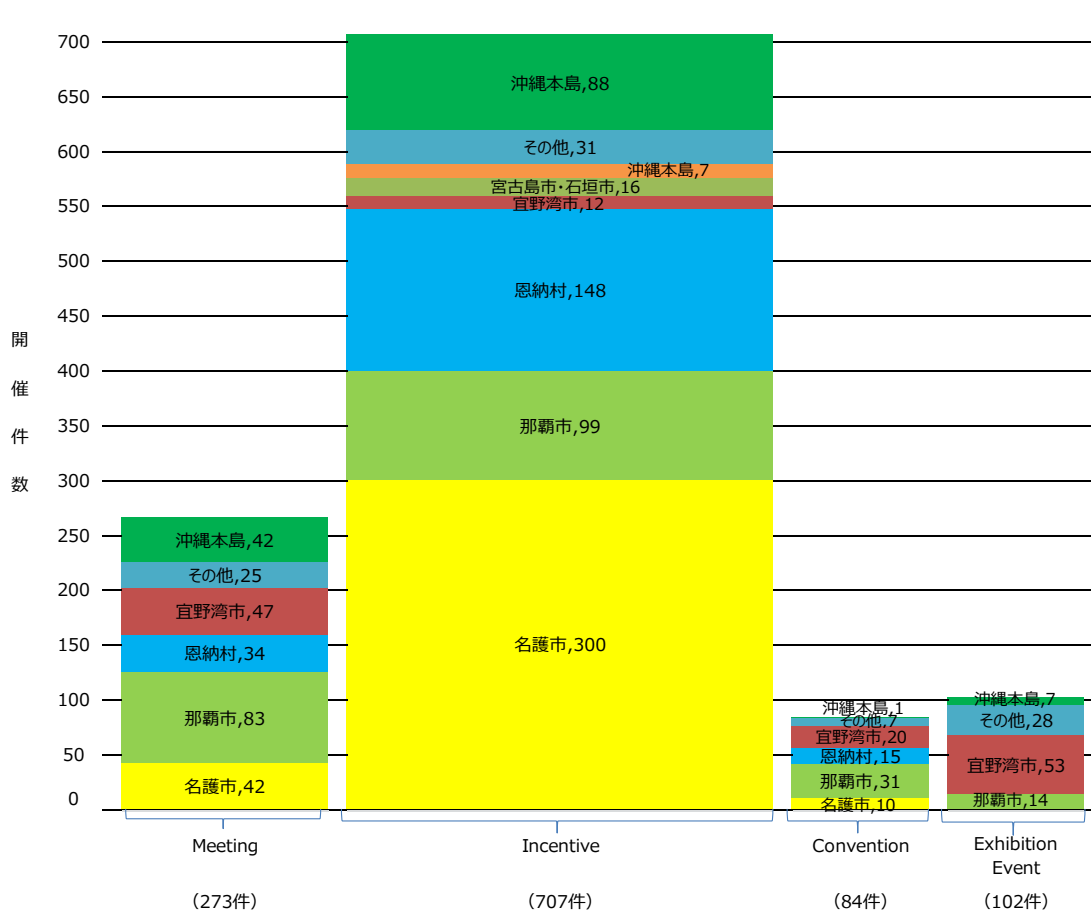
※開催件数の多い順に記載



平成 27 年

市町村	開催件数	M	I	C	E
名護市	359	42	300	10	7
那覇市	227	83	99	31	14
恩納村	197	34	148	15	0
宜野湾市	132	47	12	20	53
石垣市	18	6	9	3	0
宮古島市・石垣市	18	0	16	1	1
読谷村	17	4	13	0	0
本部町	12	3	9	0	0
糸満市	11	3	6	0	2
南城市	8	0	2	0	6
浦添市	8	1	0	0	7
北中城村	4	4	0	0	0
北谷町	4	1	0	1	2
宮古島市	3	0	0	0	3
南風原町	2	0	1	1	0
沖縄市	2	1	1	0	0
西原町	2	1	1	0	0
那覇市・金武町	1	0	1	0	0
那覇市・西原町	1	1	0	0	0
那覇市・名護市	1	0	1	0	0
名護市・恩納村	1	0	0	1	0
沖縄本島	138	42	88	1	7
合計	1,166	273	707	84	102

※開催件数の多い順に記載



経済効果調査

2.1. 調査の目的

MICEは地域に与える経済効果の大きさが推進の理由の一つと見なされている。本調査では沖縄における県外・海外からのMICEの経済効果を推計することで、その大きさを把握する。

MICE経済効果の推計にあたっては観光庁より測定ツールが公表されているものの、これは全国一律の消費原単位が設定されているなど、必ずしも沖縄の実態を正しく反映したものとはならない。例えば、学会の参加者の宿泊費は約5,500円/人・日（県外客）となっており、沖縄県のホテルの料金水準を考えると適当とは言えない水準となっている。そこで本調査では実際に開催された国内学会の参加者を対象に対面式のアンケートを実施し、その消費原単位の把握も行った。

なお、本調査で推計する経済効果とはMICE開催に伴う主催者、参加者の消費額の合計である。（ただし、沖縄県の一般観光の経済効果の推計に準じて、交通費のうち航空券代は含めないものとする）

2.2. 調査手法

2.2.1. 経済効果（消費額）の推計方法

過去に実施された開催実績調査（平成23～25年）と本年度調査で得られる開催実績調査（平成26、27年）より各年度の県外・海外からのMICE参加者数を整理し、それに参加者一人・日あたりの主催者費用、および参加者費用（原単位）を乗じて、MICE開催に伴う消費金額を経済効果として推計した。

一人当たりの主催者費用は、大手旅行会社やPCOへのヒアリング・情報照会、沖縄県からの情報提供をもとに設定した。一人当たりの参加者費用の設計は、Conventionについては国内学会参加者向けのアンケート結果より設定し、それ以外の分野については沖縄県の一般観光客の消費原単位を参考に設定した。（詳細は後述）

2.2.2. 消費原単位の設定

主催者、参加者の消費原単位は以下の考え方にに基づき設定した。

図表 分野別の主催者の消費原単位の設定方法

分野	主催者原単位の設定方法
Meeting	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者消費原単位は大手旅行会社（3社）への情報照会より複数の実績値を入手し、その平均値を設定した。 ・この際、把握できたのは総消費額のみであり、経済効果の対象とした航空券代が含まれていたため、上記の平均値より往復航空券代として4万円を差し引いた金額とした。
Incentive	<ul style="list-style-type: none"> ・Meetingとあわせて主催者消費原単位は大手旅行会社（3社）への情報照会より複数の実績値を入手し、その平均値を設定した。 ・この際、把握できたのは総消費額のみであり、経済効果の対象とした航空券代が含まれていたため、上記の平均値より往復航空券代として4万円を差し引いた金額とした。
Convention	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者および沖縄県からの情報提供により県内で開催された学会の実績値（複数件数の平均値）を入手し、その平均値を設定した。
Exhibition	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者および沖縄県からの2件の展示会の実績値を入手し、その平均値を設定した。
Event (コンサート)	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者消費原単位は県内コンサート事業者へのヒアリングにより設定した。
Event (コンサート以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者消費原単位はMICE施設運営者、イベント企画会社へのヒアリングによりExhibitionの半分とした。

参加者の消費原単位は以下のように設定した。なお、設定に際しては沖縄県の一般観光客の消費原単位を参考としている。ただし、MICE 参加者の行動特性や、Meeting や Incentive においては主催者が宿泊や飲食費の一部を負担すると考えられる点を考慮し、費目により一般観光客よりも金額を減じているものがある。

図表 分野別の参加者の消費原単位の設定方法

分野	主催者原単位の設定方法
Meeting	<ul style="list-style-type: none"> 参加者消費原単位は県外、海外については、一般観光の観光客の消費額（沖縄県調査結果）より、主催者側が負担すると考えられる、宿泊費、交通費、および参加者の行動特性を考慮し娯楽・入場料費の半額分を差し引いたものとした。 県内については、観光庁の公表している経済波及効果測定ツールにおいて設定されているものから、交通費について県内の実態を反映（一人当たり1,000円）したものとした。
Incentive	<ul style="list-style-type: none"> 県外、海外については、一般観光の観光客の消費額（沖縄県調査結果）より、主催者側が負担すると考えられる、宿泊費、交通費、娯楽・入場料費、および飲食費の半額を差し引いたものとした。 県内については、観光庁の公表している経済波及効果測定ツールにおいて設定されているものから、交通費について県内の実態を反映（一人当たり1,000円）したものとした。
Convention	<ul style="list-style-type: none"> 参加者消費原単位は2016年3月に開催された国内学会において実施した参加者に対する消費アンケートの結果を利用した。 なお、当該学会では海外参加者はいなかったため、海外参加者の消費については県外参加者と同様とみなした。
Exhibition	<ul style="list-style-type: none"> 県外、海外については、一般観光の観光客の消費額（沖縄県調査結果）より、展示会参加者の行動特性を考慮し、土産・買物費と娯楽・入場料費の半分を差し引いたものとした。 県内については、観光庁の公表している経済波及効果測定ツールにおいて設定されているものから、交通費について県内の実態を反映（一人当たり1,000円）したものとした。
Event (コンサート)	<ul style="list-style-type: none"> 県外、海外については、一般観光の観光客の消費額（沖縄県調査結果）より、参加者の行動特性を考慮し、土産・買物費と娯楽・入場料費の半分を差し引いたものとした。 県内については、観光庁の公表している経済波及効果測定ツールにおいて設定されているものから、交通費について県内の実態を反映（一人当たり1,000円）したものとした。
Event (コンサート以外)	<ul style="list-style-type: none"> 県外、海外については、一般観光の観光客の消費額（沖縄県調査結果）より、イベント参加者の行動特性を考慮し、一般観光客の宿泊費、交通費、飲食費の合計の半額と設定した。 県内については、観光庁の公表している経済波及効果測定ツールにおいて設定されているものから、交通費について県内の実態を反映（一人当たり1,000円）したものとした。

消費原単位の設定結果は以下の通りである。なお、県外、海外参加者の消費原単位が平成 24、25、26・27 年で異なるのは、設定にあたり参考とした沖縄県の一般観光客の消費原単位が年により異なるためである。(27 年は一般観光客の消費原単位データが報告書作成時点で公表されていないため、平成 26 年と同様とした)

図表 主催者・参加者の消費原単位の設定結果 (単位：円)

平成 23 年

分野	主催者消費 原単位	参加者消費原単位		
		県内	県外	海外
Meeting	48,000	3,754	36,481	66,259
Incentive	69,000	3,754	25,728	64,569
Convention	69,229	14,952	70,274	70,274
Exhibition	20,708	2,439	57,078	76,436
Event (コンサート)	10,000	4,244	57,078	76,436
Event (コンサート以外)	10,354	4,244	21,868	25,982

平成 24 年

分野	主催者消費 原単位	参加者消費原単位		
		県内	県外	海外
Meeting	48,000	3,754	35,553	51,487
Incentive	69,000	3,754	25,042	46,879
Convention	69,229	14,952	70,274	70,274
Exhibition	20,708	2,439	56,541	65,727
Event (コンサート)	10,000	4,244	56,541	65,727
Event (コンサート以外)	10,354	4,244	21,636	23,317

平成 25 年

分野	主催者消費 原単位	参加者消費原単位		
		県内	県外	海外
Meeting	48,000	3,754	34,947	60,325
Incentive	69,000	3,754	23,429	46,760
Convention	69,229	14,952	70,274	70,274
Exhibition	20,708	2,439	56,208	77,106
Event (コンサート)	10,000	4,244	56,208	77,106
Event (コンサート以外)	10,354	4,244	22,125	27,374

平成 26、27 年

分野	主催者消費 原単位	参加者消費原単位		
		県内	県内	海外
Meeting	48,000	3,754	35,473	64,605
Incentive	69,000	3,754	23,750	50,374
Convention	69,229	14,952	70,274	70,274
Exhibition	20,708	2,439	62,296	83,606
Event (コンサート)	10,000	4,244	62,296	83,606
Event (コンサート以外)	10,354	4,244	25,194	30,247

参考図表 一般観光客の消費原単位（県外観光客）

年度	23	24	25	26
宿泊費	18,722	18,738	18,635	22,657
交通費	10,035	9,996	10,020	11,084
土産・買物費	16,320	15,493	14,789	13,836
飲食費	14,979	14,537	15,594	16,646
娯楽・入場費	7,867	7,442	7,442	6,799
その他	1,248	1,802	843	1,591
	69,171	68,008	67,323	72,613

参考図表 一般観光客の消費原単位（海外観光客）

年度	23	24	25	26
宿泊費	21,157	19,420	22,476	26,694
交通費	10,251	9,952	10,880	11,614
土産・買物費	42,461	30,264	33,150	38,613
飲食費	20,555	17,262	21,392	22,186
娯楽・入場費	4,731	4,956	5,737	6,275
その他	877	1,483	2,914	668
	100,032	83,337	96,549	106,050

出所) 沖縄県文化観光スポーツ部「平成 26 年度観光統計実態調査」、

「外国人観光客満足度調査（平成 23 年度・24 年度）」、

「外国人観光客実態調査（平成 25 年度・26 年度）」

参考図表 各年の MICE 参加者数

平成 23 年

種別	県内	県外	海外	合計
Meeting	9,070	8,576	875	18,521
Incentive	89	14,504	447	15,040
Convention	5,895	15,763	1,100	22,758
Exhibition	8,296	1,702	213	10,211
Event (コンサート)	15,659	12,650	104	28,413
Event (コンサート以外)	31,165	7,600	5,946	44,711

139,654

平成 24 年

種別	県内	県外	海外	合計
Meeting	823	2,451	320	3,594
Incentive	759	33,648	4,948	39,355
Convention	16,929	55,982	3,204	76,115
Exhibition	2,330	1,529	3,040	6,899
Event (コンサート)	14,412	3,387	356	18,155
Event (コンサート以外)	34,624	21,949	6,354	62,927

207,045

平成 25 年

種別	県内	県外	海外	合計
Meeting	1,244	6,396	1,117	8,757
Incentive	362	25,854	1,440	27,656
Convention	20,575	27,153	2,097	49,825
Exhibition	26,305	773	695	27,773
Event (コンサート)	46,291	27,262	695	74,248
Event (コンサート以外)	67,448	17,636	2,352	87,436

275,695

平成 26 年

種別	県内	県外	海外	合計
Meeting	20,790	19,577	2,243	42,610
Incentive	799	33,447	2,331	36,577
Convention	4,468	21,700	1,770	27,938
Exhibition	49,662	7,122	1,500	58,284
Event (コンサート)	37,481	27,689	462	65,632
Event (コンサート以外)	20,081	52,840	5,378	78,299

309,340

平成 27 年

種別	県内	県外	海外	合計
Meeting	20,820	28,067	1,864	50,751
Incentive	513	38,865	4,754	44,132
Convention	3,897	13,978	3,846	21,721
Exhibition	39,820	7,126	981	47,927
Event (コンサート)	56,570	46,043	301	102,914
Event (コンサート以外)	27,200	62,500	6,387	96,087

363,532

※平成 24 年～27 年のデータについては沖縄国際映画祭の参加者のうち県外、海外参加者のみを含めている。

2.2.3. 国内学会参加者向けの対面式アンケート

MICE 開催の経済波及効果の測定ツールが観光庁から公表されているが、全国一律の消費原単位設定となっており、必ずしも沖縄県の状況を反映したものとはなっていない。そこで本調査では、調査期間中に開催され、かつ主催者より許可が得られた下記の学会の参加者を対象に消費状況に関するアンケートを行い、Convention 参加者の消費原単位を把握した。

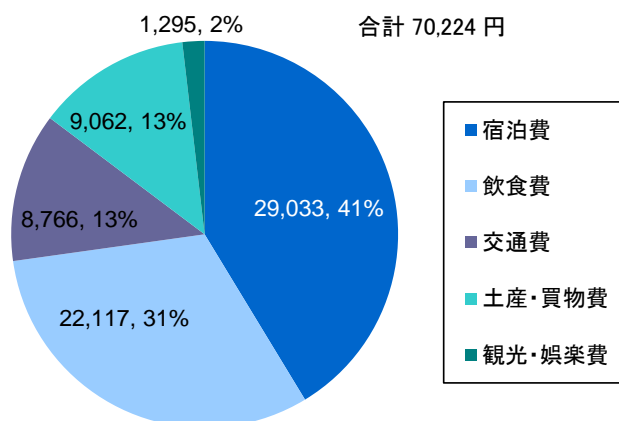
図表 対象とした国内学会の概要

催事名称：医療系国内学会（コ・メディカルが主な対象）

参加者数：約 2,500 名 日程：3/4～3/5

会場：沖縄コンベンションセンター

図表 アンケート結果より得られた Convention 参加者の消費原単位（単位：円）



2.3. 調査結果

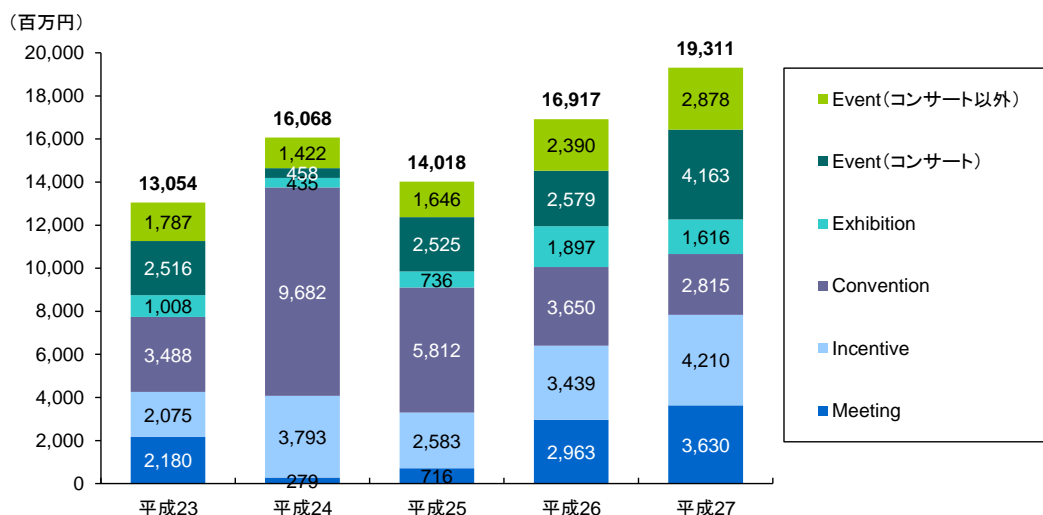
2.3.1. 経済効果推計結果

経済効果（主催者、参加者の消費額）の推計結果は以下の通りであり、平成26年は約170億円、平成27年は約190億円となっている。

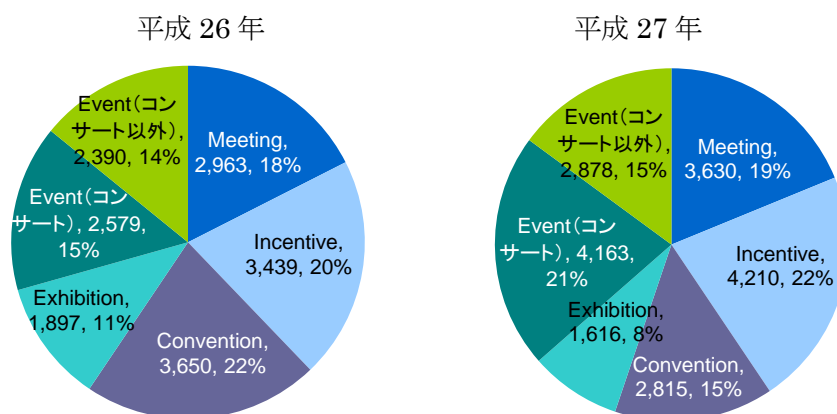
消費額の内訳は平成26年がM：18%、I：20%、C：22%、Ex：11%、Ev（コンサート）：15%、Ev（その他）：14%である。平成27年はM：19%、I：22%、C：15%、Ex：8%、Ev（コンサート）：21%、Ev（その他）：15%と、26年に比べてM、I、Ev（コンサート）の比率が高く、Cの比率が低い。

なお、平成24年調査では今回調査でMeetingと分類したような催事をConventionとして分類していることから、Cの比率が高くなっていると考えられる。

図表 沖縄県のMICE開催による経済効果

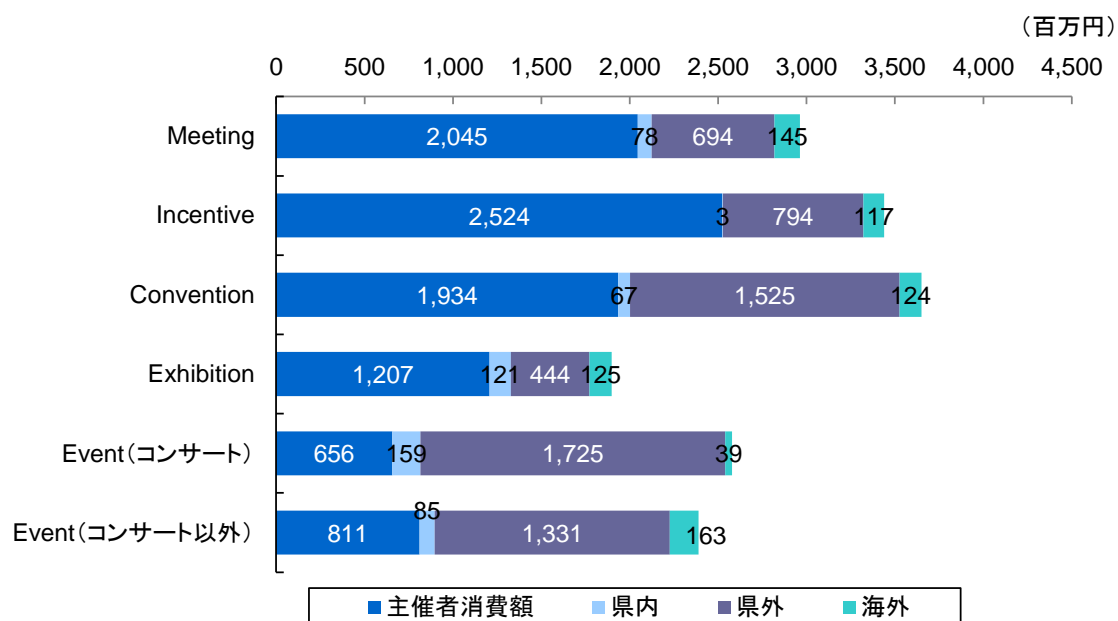


平成26年および平成27年 経済効果のM・I・C・E内訳（単位：百万円）

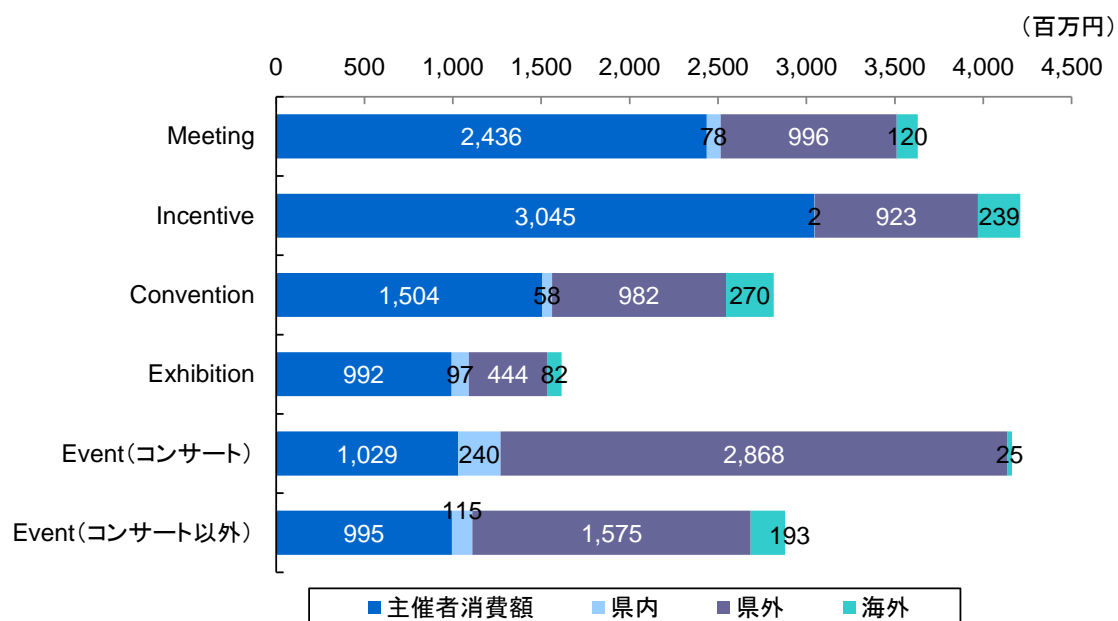


M・I・C・E 毎の主催者、参加者の消費額の内訳をみてみると、Iの主催者消費額、Ev（コンサート）の県外参加者消費額が大きい。Iの主催者消費については、消費原単位が高いこと、Ev（コンサート）の参加者消費については参加人数が大きいと考えられる。

平成 26 年 経済効果の主催者、参加者の内訳



平成 27 年 経済効果の主催者、参加者の内訳



図表 MICE 開催による経済効果

平成 24 年

(百万円)

分野	主催者 消費額	参加者消費額			合計
		県内	県外	海外	
Meeting	889	32	32	1,227	2,180
Incentive	1,038	54	12	971	2,075
Convention	1,576	236	77	1,599	3,488
Exhibition	211	4	12	780	1,008
Event (コンサート)	284	54	6	2,172	2,516
Event (コンサート以外)	463	32	130	1,162	1,787
計					13,054

平成 24 年

(百万円)

分野	主催者 消費額	参加者消費額			合計
		県内	県外	海外	
Meeting	173	3	87	16	279
Incentive	2,715	3	843	232	3,793
Convention	5,269	253	3,934	225	9,682
Exhibition	143	6	86	200	435
Event (コンサート)	182	61	192	23	458
Event (コンサート以外)	652	147	475	148	1,422
計					16,068

平成 25 年

(百万円)

分野	主催者 消費額	参加者消費額			合計
		県内	県外	海外	
Meeting	420	5	224	67	716
Incentive	1,908	1	606	67	2,583
Convention	3,449	308	1,908	147	5,812
Exhibition	575	64	43	54	736
Event (コンサート)	742	196	1,532	54	2,525
Event (コンサート以外)	905	286	390	64	1,646
計					14,018

図表 MICE 開催による経済効果（つづき）

平成 26 年

(百万円)

分野	主催者 消費額	参加者消費額			合計
		県内	県外	海外	
Meeting	2,045	78	694	145	2,963
Incentive	2,524	3	794	117	3,439
Convention	1,934	67	1,525	124	3,650
Exhibition	1,207	121	444	125	1,897
Event（コンサート）	656	159	1,725	39	2,579
Event（コンサート以外）	811	85	1,331	163	2,390
計					16,917

平成 27 年

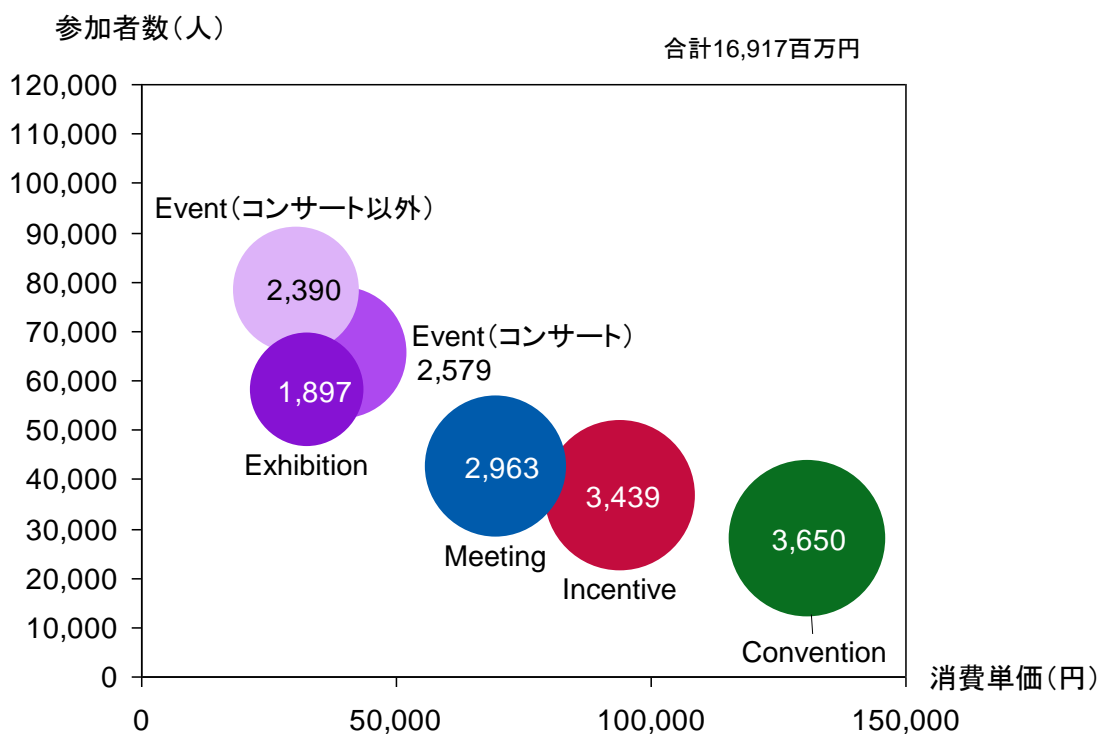
(百万円)

分野	主催者 消費額	参加者消費額			合計
		県内	県外	海外	
Meeting	2,436	78	996	120	3,630
Incentive	3,045	2	923	239	4,210
Convention	1,504	58	982	270	2,815
Exhibition	992	97	444	82	1,616
Event（コンサート）	1,029	240	2,868	25	4,163
Event（コンサート以外）	995	115	1,575	193	2,878
計					19,311

催事種別毎の参加者数と消費単価と市場規模の関係を整理すると以下となる。なお、この際用いている消費単価は各催事の市場規模を参加者数（県内、県外、海外の合計）で除したものであり、経済効果の推計において設定した消費単価とは異なる点に注意が必要である。

平成 26 年では、Convention の参加者数は催事種別の中で最小であるが、消費単価が最大※であるため、結果的に市場規模が最大となっている。一方、Event（コンサート）、Event（コンサート以外）は、参加者数は多いが、一人当たり消費額の少ない県内参加者の割合が高いことから、消費単価が低い状況である。

図表 平成 26 年 催事種別毎の参加者数（人）と消費単価（円）と市場規模（百万円）

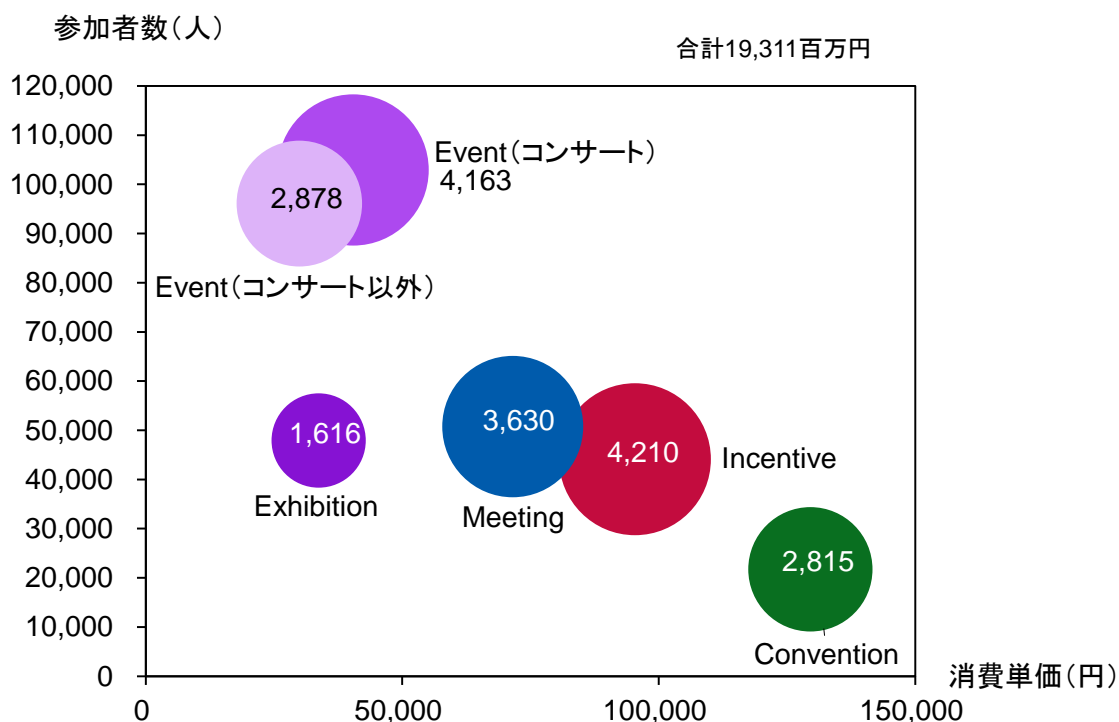


種別	市場規模 (百万円)	参加者数 (県内、県外、海外の合計)	平均消費単価 (円)
Meeting	2,963	42,610	69,530
Incentive	3,439	36,577	94,010
Convention	3,650	27,938	130,656
Exhibition	1,897	58,284	32,550
Event(コンサート)	2,579	65,632	39,294
Event(コンサート以外)	2,390	78,299	30,522

※本調査においては Convention の消費単価が高い結果となっているが、この結果は調査実施時点で收拾可能であった限られたデータ（主催者、参加者の消費単価）をもとにしたものであり、今後利用可能なデータが拡充するに従い変動する可能性がある点に留意が必要である。

平成 27 年も平成 26 年とほぼ同様の傾向ではあるが、相対的に Convention の開催件数が少ない年であったため、Convention の市場規模が小さくなっている。また、Incentive の開催件数が平成 26 年に比べて大きく伸びたため、市場規模も同様に大きくなり、各催事の中で最大となっている。

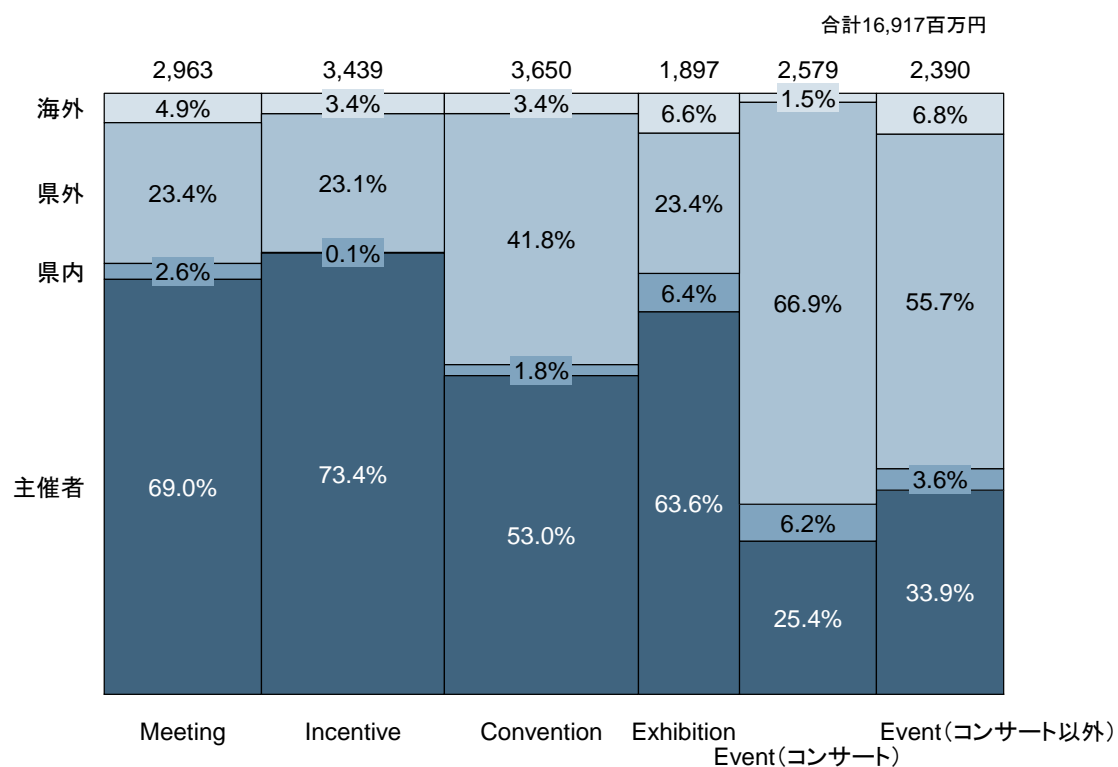
図表 平成 27 年 催事種別毎の参加者数（人）と消費単価（円）と市場規模（百万円）



種別	市場規模 (百万円)	参加者数 (県内、県外、海外の合計)	平均消費単価 (円)
Meeting	3,630	50,751	71,530
Incentive	4,210	44,132	95,386
Convention	2,815	21,721	129,578
Exhibition	1,616	47,927	33,708
Event(コンサート)	4,163	102,914	40,448
Event(コンサート以外)	2,878	96,087	29,953

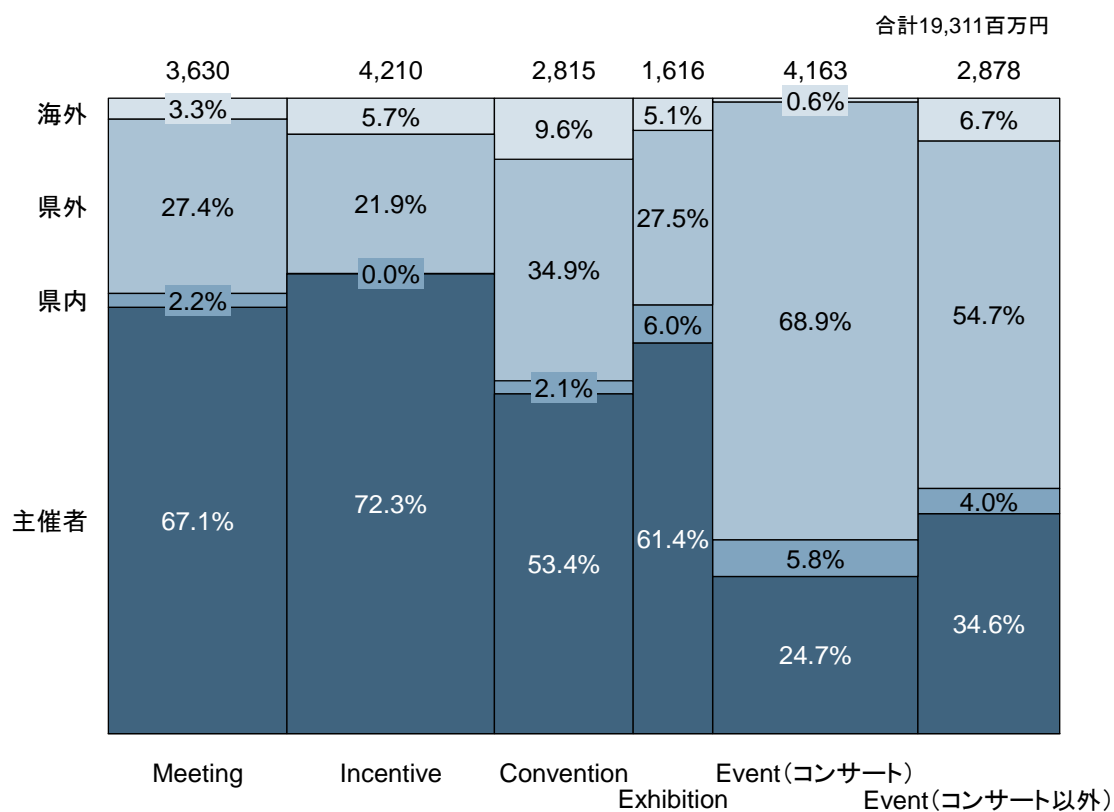
各催事の市場規模と主催者、県内、県外、海外の消費割合を見てみると、平成 26 年は Convention の市場規模が大きく、中でも主催者消費が占める割合が高いことがわかる。Incentive についても同様に主催者消費額の占める割合が高い。また、いずれの催事も県内、海外の消費額は、県内参加者、海外参加者が少ないことから小さく、主催者消費と県外参加者の消費の割合が大半を占めている。

図表 平成 26 年 市場規模と主催者、県内、県外、海外の消費額割合



平成 27 年は Incentive、Event（コンサート）の市場規模が大きいですが、Incentive については主催者消費額が、Event（コンサート）については県外参加者の消費割合が高くなっている。

図表 平成 27 年 市場規模と主催者、県内、県外、海外の消費額割合



2.3.2. まとめ

MICE 開催による経済効果は平成 23 年が約 130 億円であったのに対して、平成 27 年が約 190 億円と 4 年間で大きく増加している。この理由としては、MICE への参加者数が平成 23 年は約 14 万人であったのに対して、平成 27 年は約 30 万人と大きな伸びを示しているためと考えられる。

一方、本推計の前提となっている MICE 開催実績調査は、平成 23 年と平成 27 年では調査対象やアンケート回収率が異なるため、実際に MICE 参加者数が増えているだけでなく、アンケート回答者が増加したことに留意する必要がある。また、参加者の消費原単位についても、実際の学会関係者にアンケート調査を行った Convention 以外は一般観光の消費原単位を参照している点に留意する必要がある。

今後、沖縄県が効率的に MICE 誘致・開催による経済効果を創出していくためには、戦略的に誘致すべきターゲット分野を設定する必要がある、その際には、本調査で明らかとなった、M・I・C・E 別の市場規模や、平均消費単価といった事項を考慮した上で、誘致戦略の策定や MICE の推進体制及び受入れ体制を強化していくことが求められる。

催事分野別にみると、平成 27 年は Convention、Incentive、Meeting、Event（コンサート）の市場規模が大きい状況である（年により変動がある点に注意）。今回の調査結果では、Convention、Incentive の消費単価が高い。沖縄県の航空容量や県内交通環境、ホテル容量などを考慮すると、消費単価の高い旅行者を積極的に獲得していく必要があり、本調査結果では Convention、Incentive はそれに該当すると考えられる。

一方、Exhibition は現状の市場規模は低く、また、消費単価も低い状況にある。これは、現在、沖縄県では大規模な Exhibition を開催できる会場がなく、また開催される展示会の参加者の多くが県内客となっているためと思われる。今後、大型の会場が整備され、これまで開催できなかった規模の催事の誘致にも積極的に取り組んでいくことで、Exhibition による経済効果も向上していくものと考えられる。

Event（コンサート）は、市場規模は大きいですが、消費単価は低い状況にある。ただし、多数の県外客が Event（コンサート）への参加を目的に訪沖することから、一般観光の閑散期の需要を埋めるなどの目的には有効と考えられる。

なお、MICE はその経済効果だけではなく、誘致・開催による副次的な効果があるとされている。例えば、Convention には国内外の著名な研究者が参加するため、県内の研究者や企業とのネットワーキングの機会となる。Exhibition は域内の企業が外部の企業と交流し、販路拡大や新たな技術や製品の獲得などのビジネス機会を得ることで、地域の産業の活性化に繋がる。今後、ターゲット分野を設定するにあたっては、このような効果も含めた検討を行うべきと考えられる。

2. 参考資料

3.1. 開催実態調査 調査票

沖縄県MICE開催実態調査票（開催実績）

平成26年・平成27年分
(調査対象期間：平成26年1月1日～平成27年12月31日)

※調査票は沖縄県観光振興課のHPからダウンロード可能です。→ <http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/h27mice-chousa.html>
 ※県外または海外から10名以上の参加者がいる催事をMICEとする。

企業/団体名 _____ TEL _____
 担当部署名 _____ 部署/役職 _____
 _____ FAX _____

Q：過去2年間（平成26年1月1日～平成27年12月31日）において、MICEを受け入れましたか？

1. あり ⇒ 下表に実績の詳細をご記入ください 2. なし ⇒ 下表は空欄のまま返信ください

催事種別	催事名称	主催者	会場	開催期間	概要	参加者			海外参加者の内訳					
						県内	県外	海外	参加国数	台湾	中国	韓国	東南アジア	その他
MICE	記入例：〇〇シンポジウム	〇〇シンポジウム実行委員会	沖縄カンファレンスセンター	平成26年〇月〇〇日～ 平成26年〇月〇〇日	〇〇について研究者を招き講演してもらう。	50	50	50	3	20	10	10	5	5
MICE														
MICE														
MICE														
MICE														
MICE														
MICE														
MICE														

返信先：株式会社沖縄コングレ
 FAX# 098-869-4252
 FAX送信枚数 合計 _____ 枚
 又は E-mail mice-research@okicongre.jp

※ 催事名称や主催者名は可能な限りご記入ください。なお、個別の催事名・企業情報は一切、公表いたしません。
 ※ 参加者は、出身地問わず参加時の在住場所により振り分けてください。例) 県外在住外国人は県外、海外在住日本人は海外。
 ※ 参加国数には日本を含みません
 ※ 記入スペースが足りない場合は本様式をシート毎コピーしてご利用ください。

3.2. ガイドライン

「沖縄県 MICE 開催実態調査」ガイドライン

(平成 26 年・平成 27 年分調査)

M・I・C・E 区分について

※県外または海外から 10 名以上の参加者がいる催事を M I C E とする。

M (Meeting)

企業・団体等が主催する会議、研修、セミナー等

例：〇〇ブロック支部会議、〇〇会経営者総会、〇〇者向けの〇〇セミナー、グループミーティング

I (Incentive Travel)

企業等の報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等

※修学旅行は除く

C (Convention, Conference)

協会・学会・国内（国際）機関・団体等が主催する国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等

※主催者は、アカデミック色・公共色が強い

例：〇〇年次会議、〇〇学会第 60 回大会、〇〇セミナー i n 沖縄等、

E (Event, Exhibition)

展示会、見本市、商談会、イベント

例：国際〇〇展示会、〇〇ライブ、企業就職説明会、〇〇物産展、〇〇フェア、〇〇音楽祭

対象外：入学式、卒業式、採用試験、スポーツイベント等

3.3. 国内学会参加者向けアンケート調査票

～来場者アンケート～

- ・ 本アンケートは“学会開催による経済波及効果の測定”を目的に実施させていただいております。
- ・ お答えいただいた内容は統計的に処理を行い、上記目的以外には利用いたしません。
- ・ アンケートの調査・集計は沖縄県の委託を受け、株式会社沖縄コングレが実施しております。

学会参加に伴う行動、消費等についてお伺いいたします

- A. あなたのことについてお尋ねします。
- Q1. お住まいの地域についてお伺いします。【1. 沖縄県内 2. 沖縄県外】
- Q2. 性別を教えてください。 【 1. 男 2. 女 】
- Q3. 参加にあたって家族等の同伴者の有無。【 1. いる⇒ () 人 2. いない 】
- B. 学会参加に伴う旅程についてお尋ねします。
- Q4. 学会参加に伴い、ご宿泊の予定はございますか。
【 1. 1泊 2. 2泊 3. 3泊以上 4. 日帰り 】 →4.とお答えの方、Q6にお進みください。
- Q5. 宿泊地と宿泊数をお伺いします。(宿泊された方のみご回答ください)。
【1. 那覇市内で () 泊 2. 宜野湾市内で () 泊 3. その他に () 泊 】
- C. 観光のご予定についてお尋ねします。
- Q6. 学会参加と合わせて県内や周辺観光の予定はございますか。
【 1. 観光予定あり 2. 予定なし 】 →2.とお答えの方、Q8にお進みください。
- Q7. 観光予定の場所についてお伺いします。
【 1. 那覇市内で () 日 2. その他 () 日 ⇒具体的な場所 () 】
- D. 交通手段についてお尋ねします。
- Q8. 沖縄県内までの交通手段をお伺いします。利用手段すべてに○をつけてください。
【 1. 電車 2. バス 3. 自家用車 4. 飛行機 5. その他 6. なし(県内在住) 】
- Q9. 県内で利用されるすべての交通手段をご教示ください。利用手段すべてに○をつけてください。
【 1. タクシー 2. レンタカー 3. 路線バス 4. シャトルバス 5. マイカー 6. その他 () 】
- E. 今回の学会参加の総費用(お一人あたり、参加全日程にわたる費用*)についてお尋ねします。
予定・概算で結構ですのご記入ください。
- | | | |
|-----------------------------|---------------|--|
| 1. 宿泊費 | 約 () 円 | |
| 2. 沖縄往復航空券代 | 約 () 円 | |
| →ホテルパックをご利用の場合、9. にお進みください。 | | |
| 3. 飲食費 | 約 () 円 | |
| 4. 利用空港までの交通費 | 約 () 円 | |
| 5. 県内交通費(タクシー・バス) | 約 () 円 | |
| マイカー(レンタカー)利用の方⇒ | 移動距離 約 () km | |
| | 高速代 約 () 円 | |
| 6. 土産・買物費(会場外) | 約 () 円 | |
| 7. 観光・娯楽費 | 約 () 円 | |
| 8. その他 () | 約 () 円 | |
| 9. ホテルパックについてお伺いします | | |
| 宿泊施設名 () | | |
| 利用空港名 () | | |

※ 宿泊費、飲食費、交通費はまだ発生、支払いをしていない分についても含めて、概算の総費用をご回答ください。

.....ご協力ありがとうございました.....